

# 復旧・復興だより



## 創刊にあたり

平成23年3月11日。この日を境に私達の日常は一変しました。

東日本大震災です。地震と津波により、家は倒れ、道路は歪み、海や川の堤防は津波に押し流されました。さらには、深刻な原子力災害により、今なお遠く離れた地での避難生活を余儀なくされている方々もいます。

福島県いわき建設事務所では、東日本大震災からの復旧・復興のため、壊れた道路や堤防などを元に戻すこと【復旧】、更には被災したまちが元気になるような施設整備【復興】を行っています。是非みなさんに、私達の復旧・復興の取組を知って頂きたく、今回「復旧・復興だより」を作りました。これからも引き続きよろしくお願ひします。

## いわき管内の復旧・復興状況(10月末現在)



### 1. 復興公営住宅の整備

県では、原子力発電所事故による避難されている方の住居として、「復興公営住宅」の整備を進めています。

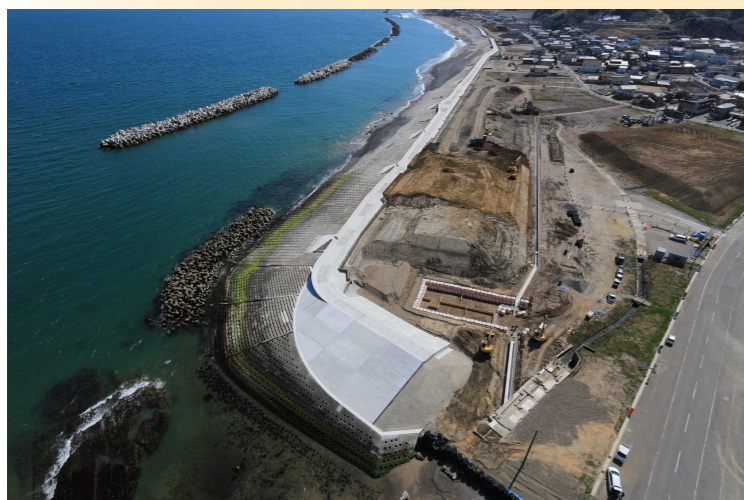
いわき管内では、1,768戸の整備を目指しております。

現在、3団地(262戸分)が完成し、入居が進んでおり、5団地(286戸分)の復興公営住宅の工事に着手しております。

### 2. 防災緑地の整備

海岸堤防を乗り越えてくる津波を減衰させるため整備する防災緑地は、7地区※で整備を予定しており、全ての箇所です工事に着手しております。詳しくは、裏面を御覧ください。

※7地区とは、「久之浜」「四倉」「沼ノ内」、「薄磯」、「豊間」、「永崎」、「岩間」の各地区です。



## 完成した施設

### ■八幡小路団地1号棟(復興公営住宅)が完成しました

八幡小路団地1号棟は平成26年10月に着工し、平成27年7月に完成しました。8月から避難されている方々の入居が始まっています。

建設地：いわき市平字八幡小路43-6

敷地面積：約2,000㎡

構造・規模：プレキャスト鉄筋コンクリート造

3階建て延べ床面積：約870㎡

戸数：1号棟12戸

(3LDK：5戸、2LDK：7戸)



平成27年7月21日 入居予定者へ鍵の引渡しを行いました。



## こんな取組も行っています

### ■いわき踊りに参加しました

8月8日、毎年恒例のいわき踊りに私達も参加しました。

いわきはこれからもどんどん明るく元気に盛り上がっていきます！！



## 編集後記

ようやく、第1号の創刊です。少しでも「県って何やってるの？」の疑問に答えたい！！そんな思いで作ってみました。一人でも多くの人に読んでもらえるとうれしいです。

ところで、9月27日に夏井川の川くだりに参加しました。約2.0kmの舟旅です。川風が気持ち良く、川の中からの風景は新鮮でした。(N.I)



福島県いわき建設事務所 企画管理部 企画調査課

編集者

〒970-8026 福島県いわき市平梅本15番地

電話 0246-24-6143 FAX0246-24-6058

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/iwakikensetu-top.html>





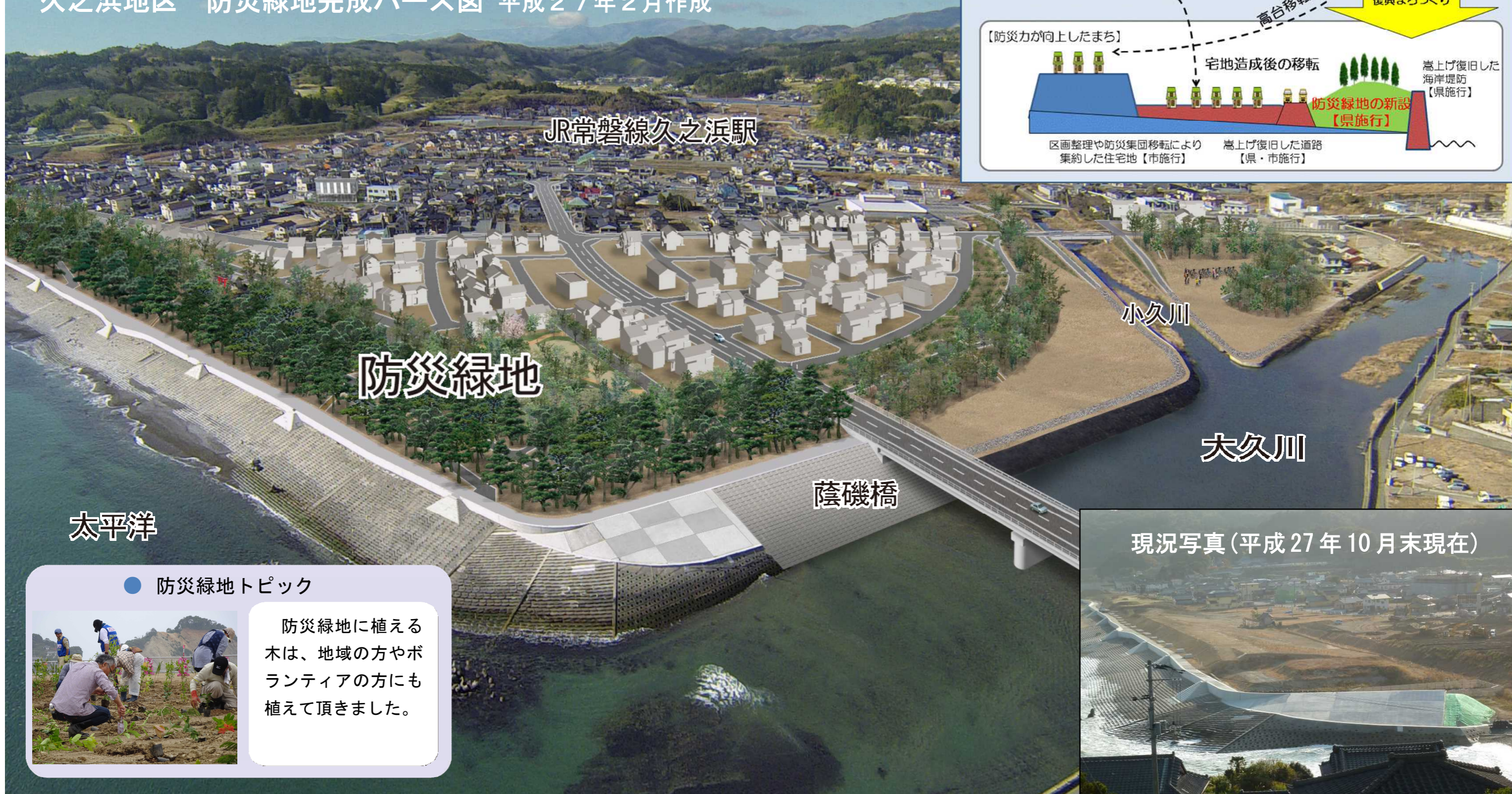
# 特集 防災緑地整備の取組み(久之浜地区)



## ● 防災緑地の整備

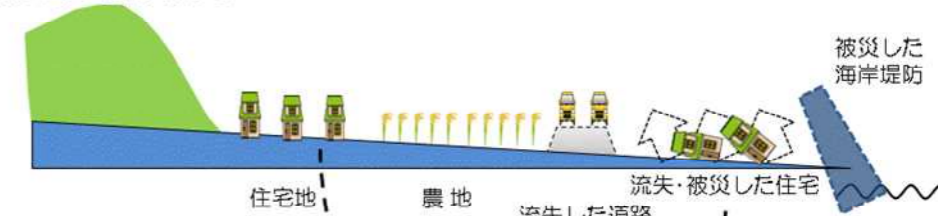
復興まちづくりでは、津波防災として「多重防御」の考え方を取り入れ、海岸堤防のすぐ後ろに「防災緑地」を整備します。海岸堤防では防ぎきれない津波は、防災緑地で勢いを弱めて、被害を小さくしていきます。防災緑地は、土を盛り立て、樹木を植えていきます。

久之浜地区 防災緑地完成パース図 平成27年2月作成



## 津波被災地の復興まちづくり

【現状（津波被災後）】



復興まちづくり

【防災力が向上したまち】



JR常磐線久之浜駅

防災緑地

小久川

大久川

蔭磯橋

太平洋

## ● 防災緑地トピック



防災緑地に植える木は、地域の方やボランティアの方にも植えて頂きました。

現況写真(平成27年10月末現在)

